



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1995-96

Act with Integrity
Serve with Love
Work for Peace

真心の行動 ● 慈愛の奉仕 ● 平和に挺身
1995～96年度・国際ロータリーのテーマ／ハーバードG.ブラウンR.I.会長

●本日の例会

3月22日／第455回例会
17:45～19:45

■夜間例会（レディス・デー）

卓話「笑わせますか、笑いますか」

司会者・放送タレント 萩 本 欽 一 氏

●先週報告

3月15日／第454回例会



荒 井 治 郎 氏

■卓話「NHKのあれこれ——番組ディレクターを中心に——」 NHK学園顧問 荒 井 治 郎 氏

■会長報告

2750地区丸山ガバナーより「先週の地区大会、多数参加いただき盛会裡に滞りなく終了できました」という主旨のお礼状が届きました。

■幹事報告

①新会員の皆様のロースターを配布させていただきました。お手持ちの「ロースターのファイル」へ追加して下さいをお願いします。

②次週（3/22）の夜間例会（レディス・デー）の開催時間は変更になりました。開会点鐘17:45、閉会19:45です。よろしく願い申し上げます。

③チャリティコンサート（地区世界社会奉仕委員会主催）のお礼状が届きました。以下抜粋です。

2月23日に虎ノ門ホールにおいて開催しました「東南アジアの難聴児救済のためのチャリティコンサート」には、貴クラブの多大のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。お陰様で、当日はほぼ満席の盛況を示し、共に楽しみ、共に歌いながら、舞台と客席が一体となり、ロータリー創立記念日を祝う素晴らしいコンサートとなりました。

■ロータリー財団委員会報告（四分一委員長）

ロータリー財団では、ポールハリスフェロー、準フェロー、ベネファクターへの寄付を要請しております。皆様からの寄付は、3年後にDDF（地区財団活動資金）として地区の財団活動を豊かにすることになります。従いまして今年度の活動は、3年前のロータリアンからの御協力により成立っております。つまり、今ご協力頂くことは、3年後、我々の地区がより多く世界に貢献出来ることになり、まさにロータリー精神「まずは人の為に」であろうと思います。多くの方々に御理解をいただき、自主目標が達成出来ますよう、自らの意志で進んで御協力を頂きたくお願い致します。

■出席委員会報告（吉岡委員長）

3ヶ月続けて90%を割る出席率の原因は、6名程の常習欠席会員による為です。委員会としては、少しでも出席を促進出来る様、欠席会員にアプローチを続けていく努力をしたいと思っています。御協力お願い致します。

■慶事披露 ●誕生日／宮川弘信君（3月19日） 山下忠治君（3月20日）

●100%出席：青野信次君（8年）

■出席報告 ●会員71名・出席48名・欠席23名（出席規定免除者1名）

ビジター（7名 敬称略）／佐野峯雄（豊橋北）、戸谷雅美、中上晶子、細川珠生（以上東京神宮）、杉浦滋彦（東京中央）、保科 正（東京南）、内田和也（東京銀座）

ニコニコBOX

順不同・敬称略

3月15日／19件 75,000円

95～96年度累計 1,632,563円

多額のご寄付を有難う

ございました。

鈴木重徳／父の葬儀に際しては、お心遣いいただきありがとうございました。山川政樹、四分一勝、青野信次、後藤信夫、横山秀明、相澤成憲、小湊雅亮、荒木昭文、梶内滋男、吉岡琢磨、岩瀬秀郎、馬場一廣、小杉真史、関 征春、清原元輔、入沢頼二、川鍋二郎、丸山忠典（紙面の都合上コメントを省略させていただきました。）

■ 3月火曜会報告

参加者17名（順不同・敬称略）／川鍋、武下、平井、小杉、沖、吉岡、関、田辺、吉田、小原渉、新保、佐藤、石束、山川、村川、入沢、河原

（3月5日、全日空ホテル37F「アストラル」にて。）

3日後に迫った本年度地区大会に因んで、「地区大会のはなし」と題して、田辺賢三会員から、RI細則や、手続要覧に掲載されている地区大会本来の目的や意義に始まり、開催地の決め方や、プログラムの在り方、RI会長代理の決定の仕方等々、一般ロータリアンのほとんどが知らずに済ましている点について多岐にわたってお話いただきました。それによって今年の地区大会開催地が特例であること、又、厳密に言えば最近の地区大会のプログラム内容が、時間的に規定を満たしていない事等を知ることができました。更に1989～90年の田辺ガバナー年度の地区大会でガバナーが意を用いた事や、裏話し、他地区での出来事や、当地区の特性等々、パストガバナーの田辺会員ならではのお話が随所にあり、有意義な一刻を過ごしました。田辺会員を含めた有志による二次会も、地区大会の話を中心に大いに盛り上がり、あっという間に時が経ち、午後9時過ぎに散会となりました。田辺さん、どうもありがとうございました。（吉田 記）

■入会3年未満の会員を対象としたロータリー情報委員会（炉辺会合）報告

ロータリー情報委員長 宮 武 保 義

2月20日の夕刻、入会3年未満の会員を対象とした炉辺会合が、ロータリー情報委員会の主催のもとに、アーケヒルズ・クラブで行なわれた。本年は、クラブ創立10周年を迎える年であり、クラブ歴の短い会員のために、クラブ活動をより良く理解するための勉強会を行うことが目的であった。柴藤副会長、関幹事を交え、ロータリー情報委員会からは、青野、柴本、宮武の3人が、また3年未満の会員からは、梶内、島田、中村、大村、村山、世良、立林、小杉、柴田（陽三）、小原（渉）、宮川の11名が参加し、テーブルを囲んだ。

副会長の開会挨拶の後、最初にロータリー情報委員長から、定款・細則について、主要な箇所の解説がなされ、更に当クラブの“5年のあゆみ”年史を用いて、クラブ

創立の経緯などを勉強した。また、今年度のクラブ活動計画書により、収支計画の概要、特に一般会計やニコニコボックス会計の性格などについても勉強が行なわれた。

次いで、青野副委員長から、当クラブ創立以来の社会奉仕活動の歴史、特にアイメイト協会や泉の家への奉仕活動などについて、詳細な説明が行なわれた。

最後に、柴本情報委員から、地区とクラブの関係について、ゾーンや第2750地区一覧表・組織図表などを用いて、理解し易い解説がなされた。また、協議会・フォーラム・炉辺会合・ラウンドテーブルなどといった用語についても、明快な説明がなされた。

こうして、一時間を超える内容の濃い勉強ののち、和食弁当をいただきながら、活発な質疑応答が交わされた。

■3月定例理事会 議事録

と き 96年3月1日（金）
例会后13:40～15:30
ところ 東京全日空ホテル
1F 孔雀の間

出席者
山川、入沢、河原、川鍋、
柴藤、吉田、新保、田辺、
関、沖次年度千代田分区代理
（順不同、敬称略）

決議事項

1. 96～97年度千代田分区IMのホストクラブを承認。
（96.10.4金、東京プリンスホテル（仮押え）にて開催）
2. 地域ニーズ調査委員会を地域社会調査委員会と名称変更することを承認。
3. 第5回クラブ協議会（3/29）の次第を承認。
4. クラブフォーラム（4/19）のテーマ「ロータリー情報」を承認。
5. 96～97年度地区青少年交換委員に四分一勝会員を推薦。

報告事項

会長報告

①地区会長（2/15）出席報告 ②新旧合同理事会は5、6月開催予定。

幹事報告

①派遣青少年交換学生の募集要綱の配布方法変更の件。

（地区委員会より直接各高等学校へ配布されていたが、今後各クラブより各高等学校へ配布する。）当クラブでは、青山学院高等部へ配布。

②ゴルフ会（5/30）開催予定。

親睦活動委員会／忘年家族会収支報告（剰余金52,056円は一般会計繰入）

■卓話 イニシエーションスピーチ「転換期の世界と社会工学」“すべてが動き変化するとき、静止できるのは精神だけだ”

（3月1日 例会）

（株）社会工学研究所代表取締役社長・当クラブ会員 立 林 英 昭

I. 社会工学とは

「社会工学」は、カール・ポパーの著書「歴史主義の貧困」の中で“歴史主義”に対立する概念として提唱された。社会が工学社会から情報社会へ転換するにつれ、これ迄、技術の対象と考えられなかった現象をも広くその対象に包含していこうという考え方が生まれ、社会変動の速さ、激しさ、にどう対応し、そこから派生してくる矛盾をどう解決していくかという社会的要請に基づいている。

社会工学の特性として、学際性、政策指向性、未来指向性があげられ、現代社会の解決をせまられる諸問題へ適用され、広く応用社会科学として、その有用性が認められている。

II. 転換期の世界

“変化”には毎日少しずつ変り、100年たって“ああ変ったな”という変化と、或る日、目がさめたら、社会、経済、政治、文化、技術といったあらゆる分野の変革が一斉におこっていたといったタイプの変化とがある。我々が今、20世紀最後の5年に立って、21世紀に向けて迎えるようとしている変革は、恐らく何百年に一回の後者の変革であろう。そこで21世紀がアジアの時代となるか、そして本格的な情報時代となるかについて、文明の進化過

程から推論してみよう。

①東の文明（中国、インド、日本など）と西の文明（エジプト・ヨーロッパなど）の波動は8世紀ごとに高低が規則的に正反対のクロスサイクルをえがいていることが歴史的事実から推論できる。②この事実から推論すると、21世紀は、東の文明の興隆期であり、西欧文明の衰退期となる。③近代文明の発展局面からすれば、21世紀は情報の時代であり、知恵の勝負となる。

	19Cシステム	20Cシステム	21Cシステム
中 核 技 術	物質（鉄）	エネルギー（内燃機関）	情報（C & C）
産 業 組 織	自由競争	寡占競争	協調的競争
社会ゲーム	威のゲーム	富のゲーム	智のゲーム

III. おわりに

日本の戦後は、物づくりの50年であった。物づくりの元は外国からの知恵であった。しかし、最早、知恵を売ってくれる相手はいない。自ら生み出すしかない。知恵は多様な個性と、飛躍的な創造力が必要で、それを生み出す社会的基盤に於て、日本は各方面でゆき詰まっている。知的社会の構築が、今、問われている。

●次週例会

3月29日／第456回例会

■卓話予定「箱根よもやま話」

松坂屋館主 安 藤 篤 好 氏

東京新南ロータリークラブ

会長：山川政樹 副会長：柴藤清三郎 幹事：関 征春

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

荒木 昭文、清原 元輔、青野 信次、
植田 和男、後藤 信夫、新保 國彦、
相澤 成憲、吉田 用親、高橋 良士、
吉岡 琢磨、大村 富俊（編集担当順）